

[illegible]

○四鄭線開通期

特に献上及び寄贈することとなり、曰く、其れく荷造發送中なるが露國皇

候補の名乗りを擧げたる者は
追分房太郎、大塩勘助、武久捨吉、井谷鶴三郎
中村俊彦、小宮萬次郎、大黒西松、林虎之助、那
須甚三郎、石原源三郎、香椎源太郎、山梨秀一

る江木辯護士の辯論を記載せる多
新聞紙は孰れも其筋より發賣願

に閱覽せしめ居れるが聞く所に依
ば第一區四區は候補を出さるべ
三、二及び五區の三區より出すべ

査せしに多數の不良酒を發見した
を以て直ちに賣店の主人を召喚し
説諭を加ふると同時に不良酒は全

哭平齋朴先生 阿部 無
醇乎一代仰儒宗。重厚曾當萬苦衝。
持贈吾書卷在。哀傷聊代接音容。

同本町三丁目

● 番付小切 寸知 れる銀 銅 鐵 鋼 紙 墨 硯



驚くべき威力の日本砲

最近の電報に獨逸軍や英軍では非常に日本砲の威力を怖れ其の威力を誇示する如き公報を頻りに出している。此の如き公報は其の事實を正確に記述する如き公報に非ず。其の事實を正確に記述する如き公報に非ず。其の事實を正確に記述する如き公報に非ず。

爆弾事件検事の論告

福田下村は死刑執行無期懲役。爆弾事件の第五回公判は十九日午前九時東京地方裁判所立派な裁判堂にて開廷した。検事長は検事長として開廷した。

陰 緑

政務總監の申問。山縣有朋は二十一日午後三時三十分、山縣有朋は二十一日午後三時三十分、山縣有朋は二十一日午後三時三十分。

彩つた腐れ鯛。需用者へ注意。近年東京は海産物の供給に困窮し、彩つた腐れ鯛の需用者へ注意。

不正漁者捕。北浦の漁業。不正漁者捕。北浦の漁業。不正漁者捕。北浦の漁業。

母子の邂逅。母子の邂逅。母子の邂逅。母子の邂逅。母子の邂逅。母子の邂逅。

朴子爵の葬儀。朴子爵の葬儀。朴子爵の葬儀。朴子爵の葬儀。朴子爵の葬儀。朴子爵の葬儀。

大邸大相撲取組。大邸大相撲取組。大邸大相撲取組。大邸大相撲取組。大邸大相撲取組。大邸大相撲取組。

汽車に轢かる。汽車に轢かる。汽車に轢かる。汽車に轢かる。汽車に轢かる。汽車に轢かる。

新築の煙草店。新築の煙草店。新築の煙草店。新築の煙草店。新築の煙草店。新築の煙草店。

八百長絶對に相成らぬ事。八百長絶對に相成らぬ事。八百長絶對に相成らぬ事。八百長絶對に相成らぬ事。八百長絶對に相成らぬ事。

演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。

大正館。大正館。大正館。大正館。大正館。大正館。

村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。

胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。

演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。

大正館。大正館。大正館。大正館。大正館。大正館。

村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。

胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。

演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。

大正館。大正館。大正館。大正館。大正館。大正館。

村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。

胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。

演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。

大正館。大正館。大正館。大正館。大正館。大正館。

村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。

胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。

演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。

大正館。大正館。大正館。大正館。大正館。大正館。

村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。村井茂先生発見。

胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。胃腸病妙薬。

第七十六回

[illegible]

りて武内加賀之助先生と柔術の試合を
いたし、其より尾州各名屋へ参つて山本源蔵活先生と試合をいたしまし
た、其より大和の柳生へ参込み
重兵衛先生とお手を合ふを願ひました
其より大阪へ参つて手裏剣の達人毛利
安達、寺の名人大藏宗賢内先生と手
合をいたしましたと、掻摘んでしま
まで御修業中の話になるを、門人
衆は之れを聞いて感心いたしました
何の先生も此の當用方丈ばかり
シテ見るに此の當用武助といふ仁は
餘ッ程出来る哩と敬服した、時に
白倉源蔵御門人は本當には應かない

●開業御披露 京城黄金町一丁目
洋佛國式洋食玉 日進軒
食米國式洋食 突口

高角輕便本意 電車交叉點の西側

源一諸位も御修業の者は高名な先生を知つて居る、此者は片々端から
高名な先生を數へ立つて茶藪ッ鐘の
歸しをして居ると思ふから、真正に
そを合應ひてフツクと聴いて居る
時に當用先生はナカナカ殊能者

人衆の後援にもなりますので
 一面調にさは思つたが、海で呉
 入院隨意（診察夜九時迄）
 泌尿器病 痔瘻病 疥癬病
 梅毒 淋病 皮膚病
 門 專
 永金 藥部 安
 目丁二町榮光
 り隣會救金
 院醫部安
 番九一四話電

黒髪
のやうに

水高石

ナイスの五大特長

- タツタ二十分乾燥
- 水く保ち髪す絶す
- 髪に活動つかす
- 髪毛の痒をぬく
- 髪毛の手なかり

小瓶 四十四円
大瓶 八十八円

水高石

スイ

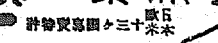
貴族 會商平丹系

中村耳鼻咽喉科醫院

本院分診
 東京市東區
 本町三丁目
 電話 五五四一
 午後一時至六時

腸蟲藥

日本三十三藥房製許



ゼゲスチン

●此說明書を
 東京市本町三丁目
 合正 圓城商店

腸蟲病は、食糧不潔、衛生習慣の無善、喉嚨の汚染の目につく、肺の汚染、小兒の體格不整等に貴用せらる、常用すれば、速效を得し効力を感し得ます。

ありふれた山師的の賣藥にて効無き此
 病氣は不治病と稱ひ、毎日悲觀者居人
 此化毒新療法にて全
 速す一日も早く
 治の速きに對し、病身となればハガキで申
 込、速に診察せしめ
 大京府下町堀町
 船木百武松蔭地

の結果今回復進歩したる「チゼン液」
 云々と思ふに
 ヲクク、
 を發見致し
 ました。

東京博愛藥院

わきがが薬

▲八方まで申込化等療法書無代送呈す
●音尾博士の発見
国家一等功勞章音尾博士は男女わきがに効くを思ひ致す所ありて研究せしめ見事に成功す

石鹼試驗法

石鹼を鹼し制つては鹼管に入れ之にアルカールを注ぎよく振り混ぜて之に灰れば此灰の石鹼は透明となる。若し混濁あるは鹼管の裏面が有れば透明が見ゆる。又鹼アルカリを含むものは此の試でフエノールフタレイン一滴を添せば赤色に變ずる。

千萬言の

説明を聽くよりは、此の
一管の實驗を御覽なさい

品質本位

花王石鹼

は

斯の如く純良無上の品質なるが故に
絶えず帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院等の採用品となり、化粧衛生の第一品として満天下に

賞讃を博するのです

花王石鹼 日本會社 東京 大塚 町 上野 池田 大
花王石鹼 日本會社 東京 大塚 町 上野 池田 大
花王石鹼 日本會社 東京 大塚 町 上野 池田 大

中
清酒
發賣元大塚京城支店
電話四〇一
振替口座五七〇

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百參拾五萬圓


京城本町二丁目振替附京城一(二番)

株式會社
第一銀行京城支店

頭取 男爵 澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

富味登品早祀
 登錄商標
 時良酒造
 吟味
 金露
 攝津灘魚崎
 釀造元大塚釀造所
 各地到所信用ある食料品
 店に販賣せり金露印と御
 指定御買上被下度候
 京城南大町通二丁目

薬り 美味にて
 癖ひに
 尤も 適當
 一杯 一杯
 體に力を附ける
 醫家 凡の病人 恢復期
 適應 運後 老衰 神經
 衰弱 消化不良 其他
 水 桶 大瓶 道徑 町 小西久兵衛
 小瓶 壹圓 四
 大瓶 壹圓 七拾錢
 各藥店等にあり



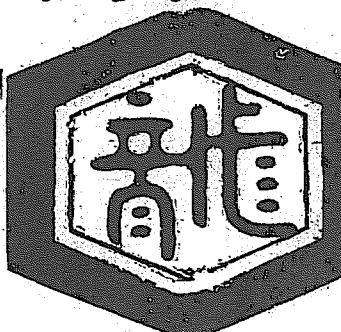
時世の要求は今回新たに八人乗り自働車を購
 入しました
 青葉若葉の風涼しき盛夏長途の旅は自働車
 に限る殊に
 春川京城間は二十四里馬背は三日安全で捷徑
 は矢張自働車
 當組は二臺を毎日往復其上運轉手も熟練安心
 の上御愛乗を乞ふ

廣橋京春自働車組
 主務金正淵
 京城南大門通二丁目三番地電話二一九
 春川取扱所 農工銀行側 李炳億
 電話四四番

復又最新自働車來る!!

行許
機械製

最上醬油



位本質品的對絕

譽名の一唯界造釀滿鮮
會進共產物年五設於

金牌受領

港川仁元造釀
社會式株油醬本日

番四七一六東京發源一五七號街

所張出城京

番三二五城東發源五〇二號街

アイヌ物語

けさせるな。アイヌ人保存に力
様に成つた其爲めに大人はまだ

殿下第十五間の御臨展に相當するを
殿下には御参内あり御視圖百上の上

西貢に逃航せり
 同正午
 暹羅會尹崇來(三)外一名が四士

西畑は土木請負業のごとし、
川地方に出稼中にて不在な

「其れや何だ、誰が一番無粋」

二名のインチキ師等は京松を
詐欺手段を以て京松の携

「林さん」とある。不思議な

夏至（五月の中）に入る、日出

五時頃家人の外出不在中自室にて縊死を遂げたり

氏名を記入せんとすれば當
を明さないで何卒か袋の裏
子として献金して下さい

同廿五日	同廿八日
同廿六日	同廿九日

▲用紙は端香又は同型の洋紙

陳列館通電 一三七二 852

平通二、二五	入	會
10	商	名

山口屋 339

典中集卷之二

[illegible]

渡邊默禪

A black and white photograph of a woman in a dark, heavy coat and a headscarf, leaning over a table covered with a patterned cloth. She is holding a small object, possibly a cup or a small pot, which is also on the table. The background is dark and textured.

具一式 監獄製製品販賣所

當を掻きのけて、蹠で兩手を喉に
出した。その手に何やら觸つた、觸
つた手はいきなりそれを掴んだ。握
んだ機會にばかりと目が明いた。
同時に猛然として醒覺した。重大い
分外に重い。何物か自分の蒲團の上
に乗見つてゐるやうだ。四邊は暗
黒闇に映る影とはなかつたけれど
今、今恐ろしい危害、壓迫さ自分
の體に加はりつゝあることを明かに
直覺した。喉はびりびりッ、びりび
りッとなめつけられて、次第に氣が
遠くなつてゆく。窒息。今自分は刻
一刻窒息の度を前めてゐるのだ。

「お父さまッ！ お、お父様ッ！」
彼女を出ぬ聲を無理に擧げて叫べ
立てた。そして手に觸れた物を必す
と握つて、ばたばたと跳いだ。

「な、な、何だッ。」
熟睡してゐた千鶴はこの物音に驚
き醒めて、互疑ふ跳起きた。

「塙、塙さん、ぞいぞ、如何した。
おい、塙さん、ゆ、ゆ、夢でも見た
かい。」
急いで枕頭の黄盆にあつた構子を
探らうとした時、ばたばたとこゝ

「初恋の女」書名盛しと親分は不幸にと味
牛半を喰ひ居る落の女と親及び其の初戀の女
女になつた情死を一生を共にするに於ける十
女に對する當時時代を知り色慾に富みたる
て俗語の如く理知と感情とを兼ねてゐること
十五松葉に青田に徳田龍太郎の二篇附録

「近來成金屋の類
意の荒い事多し」
りのものがある一
寸の事に二つの句
は已れに信用がか
いか来る其たきに至つては丁難
の分際迄が用で吹き来る風を斷か
て語る全く盛んなものだ(佐藤)「味
更行に木を無だ儒な卑劣の中傷の投
書はテント問題にならない爲らざる
眞の腹の底から出た告白であつてほ
しい然らざれば擲くることも多少事實に
近いから誤りのない處も希望して
ない次第である(一投書者)「僕は日
常生に同感者の一人ですが産婆の不
慮子には實に愁きます先生の障りの
之期の内へ」

新刊紹介
「マージン大正新聞白紙詰付カード・ス
マッシュ」此は小説、パトリック・アムステルダ
間の大不正事件に關する著書にして、
二十七八頁數段讀了せりとの(定價百圓
共不明)

日々寝る一方であるが、此脚氣は甚いものになると手足登つて來て手の筋が痠れて度此眞寢の儘になる。普通の人は脚氣云へば足だけの病氣の儘に覺醒思はる儘であるが、足だけの覺醒は實は極々のやましい方で大抵の脚氣は腹から心臓迄も犯し、世に恐ろしい脚氣衝心云々稱にもなつ。腹命を取つて行くので、星等の脚氣は多く痲痺性脚氣云つて即ち斯くの如く手足でも動かぬ様に痺れに足ふものである。脚氣の原が此様に手にまで及んでふと冬になるまでも其儘で居て却々治らぬ。其間には然る中風にでも罹つた様に手が痺れぬと云ふ事になるから手とする作事は殆んど何も出来ない云ふ事になるのである。其苦痛と不自由さは實に言語を斷つて其自ら此脚氣の最も發生し易い此入梅期節に於て脚氣病の人は早く防をすると云ふ事、及び既に脚氣の出た人は少しも早く手當して輕い間に治して置くこと云ふ事は最も安全な方法で、大れにはアンチペリペリン藥水が最も適當な療法である。

日本は勿論獨逸英國米國でも專賣特許を得て其特効を確證せられたが、



ト白粉

新東京式のお粧 で、いまして

豆向の濃酒に上品な漂白糖には、レ
ートデエリを白粉下にして、レト水白
粉をお掛けになり、またクレムレド
をお化粧下にして、レト粉白粉でお粧を

なさいませ。而して艶麗な漂白糖にはレ
ート煤白粉が、又はレト煤白粉にレト
透明化糖水を溶水ししてお用ゐる遊ばさ
れます。そのお化粧の美くし何に譬

へやうもいけません。此のレト白粉が
新東京式の白粉 申されます

のは、第一此の白粉に塵毛程の粉分もな
いのは素より、第二に白粉の分子が細か
いので附も伸も自由自在で、第三に落着
が、其事でお粧が手際よく出来上り、第四

にお粧に斑が出来ず、また化粧崩れせず、
第五に質が變るこ、色が變るこ、乾
固るこが云ふことがないので、白粉が無駄

にならず、其上奥ましい芳香はレト特
有のもので、何れの處から見ても怎んな
完全無比の逸品 は、他に求めら

れぬからで、いいます。其に、皆さ郎を
蒙る然かも上品な化粧袋を賣ぶ新東京式
の化粧に、レト白粉が専用されるのは
疑ひを容れぬ所です。因みにレト

白粉には、煤、固煉、水粉、紙、打、
自然色等皆完備つて居り、白粉下にはレ

本店 京城本町二丁目國丸主筆

寫眞部 寫眞製部

京城日報社

大邱浦項間自動車時間

大邱	浦項	大邱	浦項
六月廿一日	六月廿一日	六月廿一日	六月廿一日
...

朝鮮郵船

船名	開行	到行
京城	六月廿一日	六月廿五日
釜山	六月廿二日	六月廿六日
...

大邱農場自動車部

大邱出張所

大阪商船出帆

船名	開行	到行
大阪丸	六月廿一日	六月廿五日
...

共同汽船出帆

船名	開行	到行
共同丸	六月廿一日	六月廿五日
...

梅毒 驚くべき奇薬六〇六號服用
 品の有る毒藥スヒロール僅少の殘
 不要 藥劑師藥舖 筑前直方 藥業局
 完全なる食糧外御申
 上何品でも御買申
 片山質舖
 明治町三丁目交番東小路
 京城本町二丁目花月前
 佛具調進所

[illegible]